

お客様各位

2009年10月22日  
セイコープレジジョン株式会社  
システム事業部

「SX-3640 TAC、TSS」電源投入時に発生する現象についてのお知らせ

拝啓 日頃は弊社製品に格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

弊社製時刻監査サーバ「SX-3640 TAC」、タイムスタンプサーバ「SX-3640 TSS/TSSH」において、電源投入直後にシステムが正常に立ち上がらないという現象が確認されましたので、ご報告するとともに、弊社の対応についてご案内させていただきます。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 現象

SX - 3640 : 電源投入時に前面の表示が「**Initializing**」のまま1分以上経っても表示が変わらず正常に動作しません。

この状態が発生した場合、本体の電源を OFF/ON しても状況が変わらず正常に動作しません。

2. 対象製品

SX-3640 TAC 時刻監査サーバ / SX-3640 TSS/TSSH タイムスタンプサーバ Serial No. 50007~50276

3. 発生条件

本現象は電源投入時に、非常に稀に発生する可能性があります。

発生率としては、毎日1回電源 OFF/ON を実施した場合で、約7.6年に1回発生する確率となります。

4. 発生原因

電源投入時にボードに搭載しているチップセット (CPU の周辺回路を収めた LSI の集合体) の誤動作により CMOS と呼ばれるメモリーエリアの内容が壊れたことが原因です。

5. 予防対策

本事象を回避する改造を加えた BIOS (電源投入直後の最初に起動する周辺機器を制御するプログラム) を用意しておりますので下記までお問合せください。

お問合せ先 電話 03-5620-6831 サービス部門 BIOS (バイオス) 担当まで。

以上